



【たかはまこ】

高浜市出身。1981年にデビュー。長男誕生後、子育ての毎日を描いた作品が話題に。主な作品では『たたかえ！お母さん』（ベネッセコーポレーション）、『B級ママでいこう！』（主婦の友社）、『笑うママの生活』（竹書房）。たかはまこさん原作、貞本義行さん作画『アルカイックスマイル』を執筆中。



【藤末さくら】

愛知県出身、在住。高校1年生のときにデビュー。恋愛漫画でリアルな心情を描く。主な作品では『あのコと一緒に』（集英社）、『春夏秋冬Days』（講談社）、『いまにほ』（集英社）。現在、新連載作品を企画・執筆中。



「さんかく屋根街アパート」より
©藤末さくら／講談社

広報たかはま平成25年11月1日号より
©たかはまこ

“撮っておき” の たかはま

【第95回】

「ひと」「もの」「文化」などなど、
有形・無形を問わず、
高浜市の日常の暮らしの中にある
とっておきの「お宝」を紹介します。

漫画になった たかはまの日常 ～「大人も子どもも」「さんかく屋根街アパート」～

高浜市を舞台にした漫画があることをご存じだろうか。

「大人も子どもも」は、市民から寄せられたエピソードを漫画家たかはまこさんが4コマ漫画にしたもので、『広報たかはま』に平成19年から9年間掲載された。“たかはま子ども市民憲章”の啓発を目的にスタートし、大人と子どもそれぞれの視点から、家庭をとりまくできごとが描かれている。「愛情があるからこそ笑いになる」とたかはまこさんは語る。市民から寄せられたエピソードは、用紙2ページに渡るものから、たった数行のみというものもあり、4コマに仕上げるのに苦労することもあったという。漫画をとおして、高浜市のさまざまな家庭で子育てに奮闘するようすを見ることができる。

「さんかく屋根街アパート」は、高浜市を舞台にヒロインが鬼師をめざし成長する姿が描かれた漫画で、漫画雑誌『BE・LOVE』に1年半連載された。作者の藤末さくらさんは、「鬼師の瓦に対する情熱に惹かれ、この漫画をとおして、日本の伝統文化でもある鬼師の仕事を全国に知ってもらえるとうれしい」と語る。“鬼みち”や“旧高浜港駅”、“鬼みちまつりのランプシェードづくり”など、高浜の風景やイベントのようすも描かれている。普段何気なく見過ごしている風景だが、漫画の世界に登場することで、まちのことを再発見できる。

高浜を愛し、高浜の良さを学んで高浜でたくましく生きる未来市民の育成

「学校」「家庭」「地域」が一体となって子どもたちを育むため、毎月の「めざす学習習慣」をこのコーナーで紹介していきます。

12月〈生活習慣 ～礼儀～〉

- 〈めざす年長児〉げんきよくあいさつします。
- 〈めざす小6生〉進んで気持ちのよいあいさつや返事をします。
- 〈めざす中3生〉場に応じたあいさつ、言葉づかい、身だしなみを心がけます。



高浜市が育てていきたい生活習慣・学習習慣育成プロジェクト
いきいき広場内教育センターグループ ☎52-1111（内線311）

LEIA A PÁGINA EM PORTUGUÊS!

ポルトガル語は17ページ

早期配布にご協力ください。